

都市計画道路

豊田刈谷線

～ 本田西岡工区～

豊田 市

※トヨタ自動車下山工場付近上空より南方を望む。

事業概要

豊田刈谷線は、豊田市の中心市街地と刈谷市の中心市街地を結ぶ

幹線道路で、沿線地域の経済・社会活動をはじめ、日常生活を支える重要な道路です。

このうち、本田西岡工区は、本市の骨格となる幹線道路の放射道路の一部を形成し、同路線の宮上知立線バイパスと一体となって整備を進めることで、交通の分散化、円滑化を図り、生活道路から通過交通を排除し、安全で快適なまちづくりによる良好な市街地形成を図るものです。

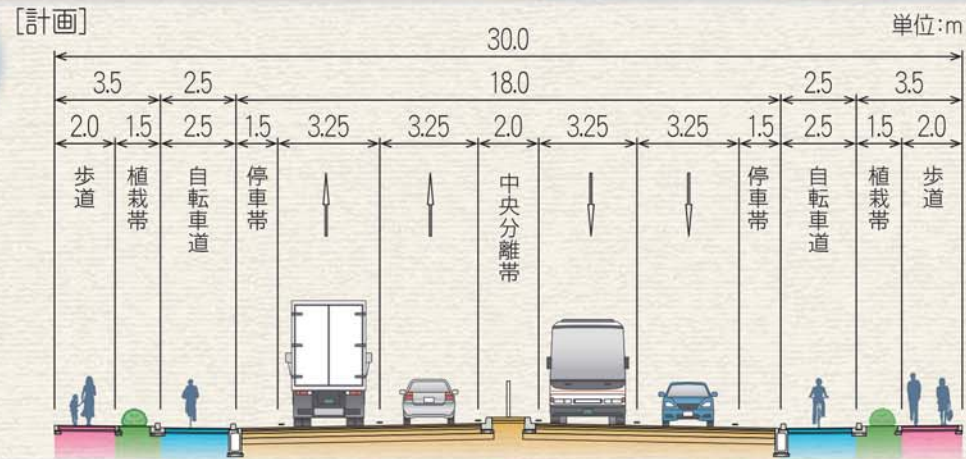


※破線は未整備区間を示す。

- 事業区間 : 豊田市本田町三光～西岡町長土井
- 事業延長 : 約1.5 km
- 幅員 : 30m
- 車線数 : 4車線
- 道路規格 : 第4種第1級
- 設計速度 : 60 km/h

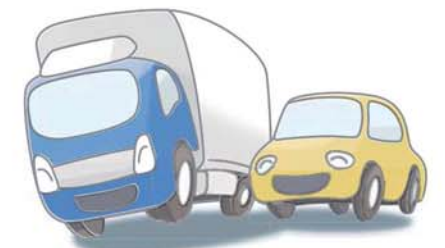


標準断面図



車道には、中央分離帯や停車帯を設けるほか、交差点には右折レーンを設けるなど、自動車交通の安全性や走行性の向上を図ります。また、歩道や自転車道、植栽帯を設けることにより、安全で快適な空間を創出します。

事業効果



1 渋滞の解消、交通の円滑化

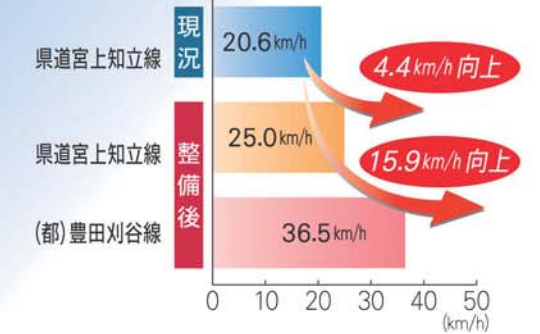
当該地区を南北に結ぶ県道宮上知立線、市道堤環状線では、通勤時間帯などにおいて著しい渋滞が発生しています。豊田刈谷線の整備により、南北の交通軸を強化し、渋滞の解消、交通の円滑化を実現するとともに、渋滞に伴う地区内の通過交通を排除し、生活環境の安全を確保します。



▲県道宮上知立線の著しい渋滞

▲住宅地の通過交通

■ 旅行速度の改善 ((主)名古屋岡崎線～(一)岡崎豊明線)



※現況はH27道路交通センサスの昼間12時間平均旅行速度
※整備後はH42将来交通量推計による推計値

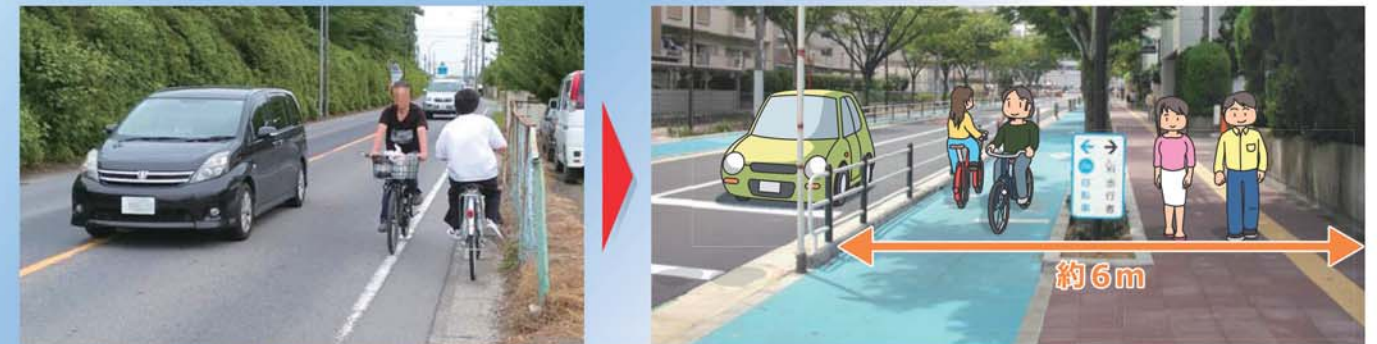
2 交通事故・災害時の代替路の確保

当該地区を南北に結ぶ県道宮上知立線は2車線の道路であり、交通事故や災害が発生すると通行止めや片側交互通行が必要になります。豊田刈谷線の4車線整備により、県道宮上知立線の代替路として、交通事故や災害発生時においても迅速に交通を確保します。また、中央分離帯を設けることで、安全性が向上します。



3 歩行者・自転車の安全性の確保

現道の市道堤環状線は歩道がなく、通勤、通学時の自転車利用者や歩行者が危険な状況にあります。豊田刈谷線の整備により、歩道や自転車道を新たに設けることで、歩行者、自転車、自動車をそれぞれ分離し、通学・通勤の安全安心を確保します。



▲危険な自転車の右側通行 (現道の市道堤環状線)

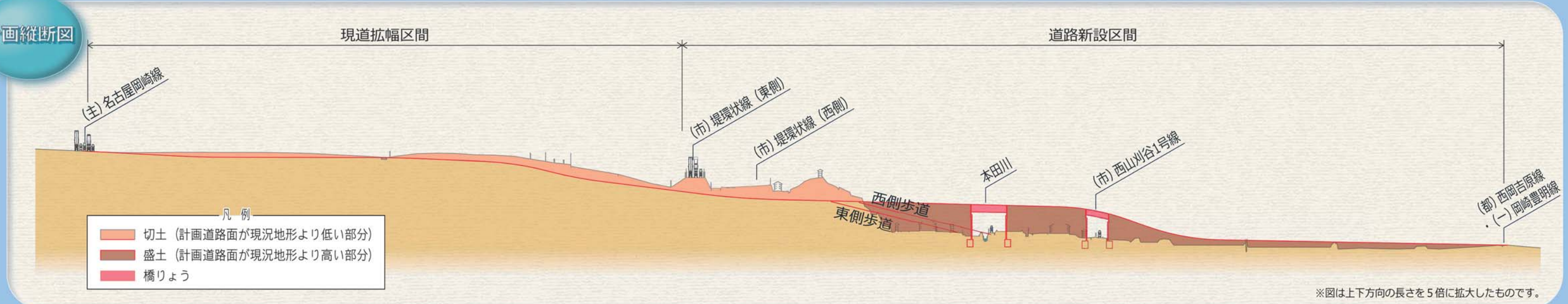
▲整備イメージ (堺市新金岡80号線の整備事例)

約6m

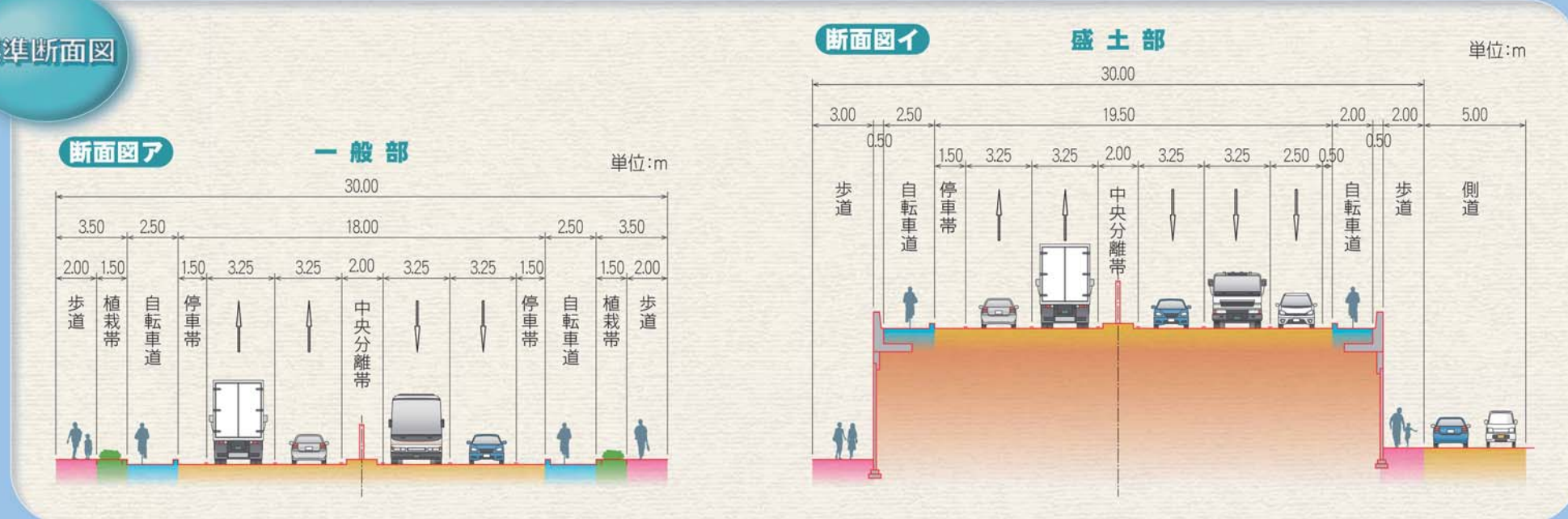
計画平面図



計画縦断面図



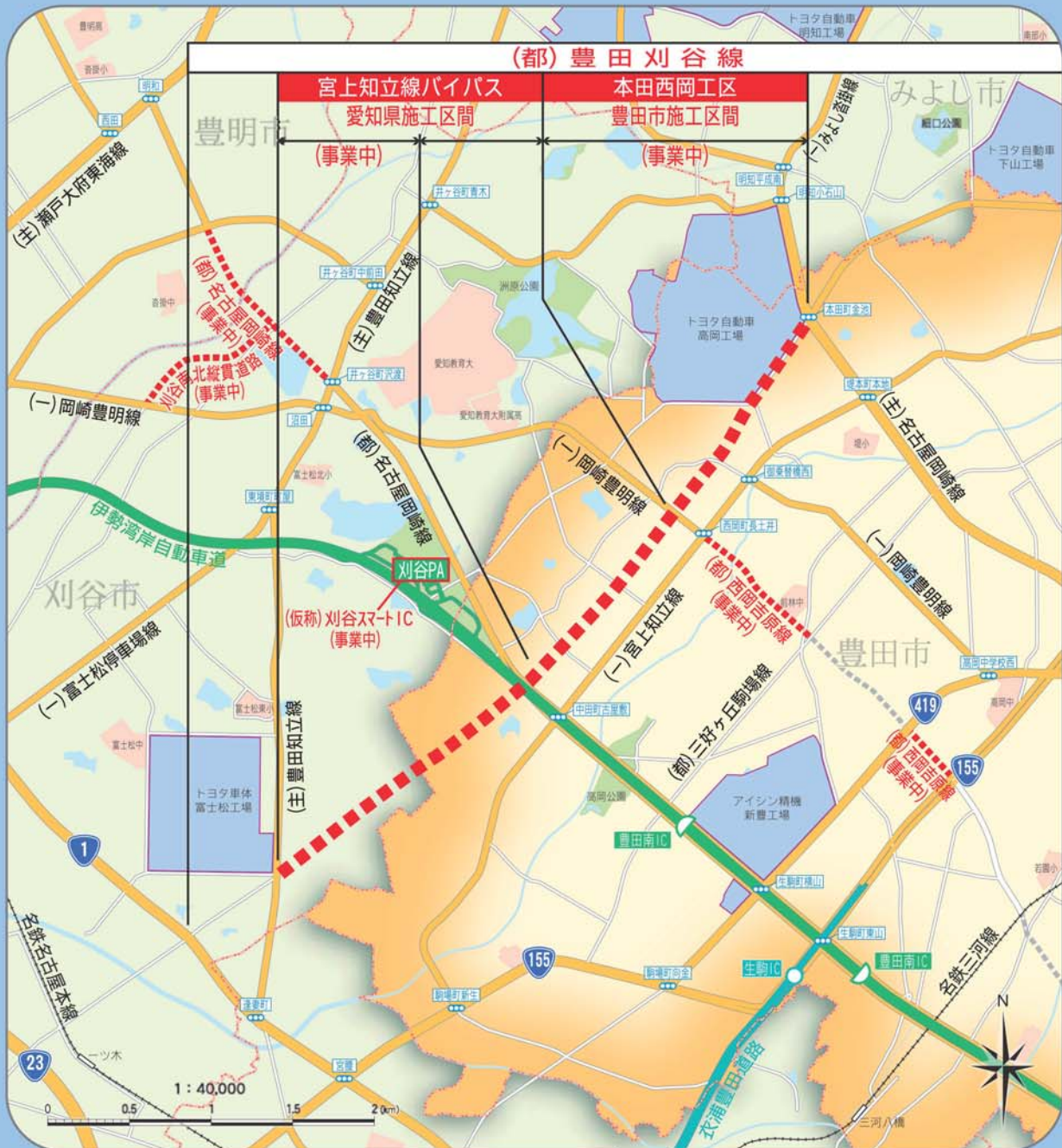
標準断面図



※図はイメージであり、細部形状は実際と異なる可能性があります。

南部地域で進む幹線道路網の整備

豊田市の南部地域には、自動車産業における主要な工場が集積しており、豊田南ICや周辺の幹線道路等に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生しています。このようなことから、交通渋滞を緩和し、産業の生産性向上、地域の活性化を図るため、(仮称)刈谷スマートインターチェンジを始め、(都)名古屋岡崎線、(都)豊田刈谷線など多くの道路事業が、中日本高速道路(株)、愛知県、刈谷市、豊田市など、多数の関係機関と連携して進められています。



お問い合わせ

豊田市建設部街路課

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

電話0565-34-6651

Fax 0565-35-8196

E-mail gairo@city.toyota.aichi.jp

